

令和2年度事業報告



社会福祉法人大石田町社会福祉協議会

1. 行事について

新型コロナウイルス感染防止のため、ほとんどの行事は中止となりました。令和2年度において実施した行事は次のとおりです。

(実施された行事)

10月3日(土) 赤い羽根共同募金運動オープニングセレモニー

会場：ふたば児童センター

内容：児童、園児によるマーチングバンド等によるセレモニー

参加：ふたば保育園理事長・ふたば保育園職員・児童・園児・保護者
山形県共同募金会事務局職員

大石田町長(会長)・常務理事・社協職員・ボランティア

コロナ対策：園児を除きマスク着用、手洗い、消毒、密を避ける募金

参考：令和2年度赤い羽根共同募金 募金額 1,578,352円(目標達成)



10月21日(水) 金婚祝賀記念式典(おしどり金婚式)

会場：虹のプラザ中会議室

内容：大石田町による祝詞、記念品贈呈・山形新聞社による顕彰レリーフ贈呈
思い出のフォトアルバム公開(スライドショー)・ピアノ演奏
飲食無し

参加：13組金婚夫妻の参加

山形新聞社尾花沢支社長・大石田町議会議長・大石田町教育長・大石田町議
会産建常任委員長・大石田町老人クラブ連合会長

大石田町長(会長)・副町長(副会長)・副会長・常務理事・社協職員
教育委員会職員

コロナ対策：飲食無し、マスク着用、
消毒、短時間での実施、
密を避ける

参考：金婚夫妻には祝詞、記念品(写真)、
レリーフ、仕出し料理、ケーキを贈呈



11月18日(水) おもいやりのつどい(ひとり暮らし高齢者、介護人へのねぎらい)

会場：あったまりランド深堀

内容：健康教室、生活安全講座、会食、入浴、ビンゴゲーム

参加：該当者27名

大石田町長(会長)・大石田町保健福祉課職員・まちづくり推進課職員・
大石田町地域包括支援センター職員・社協職員

コロナ対策：マスク着用、消毒、黙食、カラオケ無し

参考：送迎はあったまりランドバス、大石田町バスの2台で行った。

2月19日(金) 大石田町社会福祉協議会 会長表彰式(福祉のつどい)

会場：虹のプラザ 中会議室

内容：善行者(社会福祉協議会への寄付者)、老人クラブ活動育成指導功労者等への会長表彰式(従来の福祉のつどいの表彰式だけを行った。)

参加：表彰者22名

大石田町議会議長

大石田町長(会長)・社協副会長・常務理事・大石田町老人クラブ連合会長

コロナ対策：マスク着用、消毒、短時間での実施

(その他実施された行事)

身体障害者福祉会歩行宿泊訓練・手をつなぐ育成会親子ふれあい研修・福祉ボランティアいこいの会現地研修会・老人クラブ新春囲碁将棋大会

(新型コロナウイルス感染防止のため中止とした行事)

老人クラブ等の各団体関係行事、会議など・戦没者追悼式・福祉ボランティア養成講座・福祉講座・出前講座・いきいき大石田福祉のつどい・手づくり展

2. 事業について

地域福祉活動を主とする事業については、高齢者の見守り支援、生活困窮者支援などをはじめとして、コロナ禍において、その重要度は増々高いものとなりました。

(1) 高齢者、障がい者への見守り支援

① 配食サービス

内容：お弁当を宅配することによって、高齢者宅を訪問し体調の変化や困りごと等について確認する。

年間配食回数：22回 1,357食 (1食あたり自己負担200円)

支援連携団体：民生委員児童委員協議会・食生活改善推進員連絡協議会・福祉ボランティアいこいの会・大石田町・大石田町社会福祉協議会

②いれあい訪問事業

内容：民生委員が乳酸飲料を手土産をもって高齢者宅を訪問し体調の変化や困りごと等について確認する。

年間配達回数：10回 延べ1,279件 5,116本

支援連携団体：民生委員児童委員協議会・大石田町・大石田町社会福祉協議会

③冬季間見守り活動（除雪ボランティア）

内容：降雪期に一人暮らし高齢者、障がい者宅を訪問し、間口除雪や軒下除雪をして依頼者の健康状態や困りごとについて確認する。

活動日数：延べ36日 活動人数：延べ327人 訪問件数：延べ224件

支援連携団体：民生委員児童委員協議会・大石田町地域包括支援センター・大石田中学校・除雪ボランティアスノーバスターズ・大石田町・大石田町社会福祉協議会

④買い物支援

内容：本年度より鷹巣地区で実験的に開始。社会福祉協議会がタクシーをチャーターして「買い物ツアー」として参加者を募集。参加者がタクシーに乗り合わせ、尾花沢市内のスーパーマーケットで1時間ほどの買い物をする。社協職員が往復添乗し、店内での支援も行う。利用料：ひとり1回1,000円
山形陸運事務所確認済み

実施回数：3回 参加人数：延べ7人

支援連携団体：鷹巣地区すこやか・安心地域づくり推進委員会・しののめ観光タクシー・大石田町・大石田町社会福祉協議会

⑤サロン活動

内容：主として老人クラブが主体となって健康づくりと孤立を防ぐことを目的として百才体操や、お茶飲み会をしている。今年度は感染防止のため未実施の地区が多かった。サロン未実施地区については社会福祉協議会が主導する形で取り組んでいる。

実施地区：10地区（社協補助金交付地区）—地区あたり3,000円補助

1地区（鷹巣（地域支え合い応援事業実施地区））

支援連携団体：各地区・老人クラブ・山形県地域健康福祉課・大石田町・大石田町地域包括支援センター・民生委員児童委員協議会・大石田町社会福祉協議会
※ 通年行う「出前講座（サロン）」は中止。

⑥福祉サービス利用援助事業（社会福祉法に定められた第二種社会福祉事業）

※ 山形県社会福祉協議会からの委託事業

内容：高齢者や知的障がいや精神障がいのある方などで、福祉サービスの利用をしたいけれどよくわからない方や、お金の管理や引き出しができないなど日常生活に不安のある方に、社会福祉協議会職員の専門員が相談受入れし、社会

福祉協議会から委託された生活支援員が訪問し、日常的な金銭の出し入れなどの支援を行う。 利用料：1回 1,500円

利用者数：7名 専門員：2名 生活支援員：4名

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談	35	30	43	29	24	23	38	47	38	32	32	43	414
支援	10	9	7	10	9	8	9	10	8	8	10	10	108

相談件数内訳 認知症高齢者 43回 知的障がい者 138回 精神障がい者 231回 他2回

支援連携団体：大石田町地域包括支援センター・介護事業者・民生委員児童委員協議会・山形県社会福祉協議会・大石田町社会福祉協議会

(2) 生活困窮者への支援

① たすけあい金庫貸付事業（大石田町独自の支援事業）

内容：緊急に必要とする生活資金（例えば、水光熱費、通信費等のライフラインを維持するために資金）を貸付し、低所得者の生活をささえる事業。

大石田町民限定 1世帯10万円までの貸付 原則12か月で返済。

（月別貸付金額及び件数）金額単位：万円

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	4	1	2	0	1	2	2	0	1	4	2	3	22
貸付	36	10	7	0	10	20	13	0	5.5	28.4	11	16	156.9

（月別返済金額及び件数）金額単位：万円

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	4	7	10	2	10	2	5	7	7	2	6	3	65
返済	1.6	10.4	7.7	1.5	17.5	1.5	3.8	5	4.3	1.5	5.5	2	62.3

支援連携団体：民生委員児童委員協議会・大石田町社会福祉協議会

② 生活福祉資金貸付事業（第一種社会福祉事業）

※ 山形県社会福祉協議会からの委託事業

内容：総合支援資金・福祉資金福祉費・福祉資金緊急小口資金・教育支援資金などの資金貸付制度がある。利用できるのは低所得世帯、障がい者世帯などで、世帯所得の上限がある。昨年からの新型コロナウイルス感染防止対策による緊急支援として生活福祉資金特例貸付「緊急小口資金」「総合支援資

金」などの貸付が増加している。

総合支援資金：貸付上限 60 万円（一時生活再建費）

福祉資金 福祉費：貸付上限 580 万円（技能習得費）

緊急小口資金：貸付上限 10 万円（生活困窮者自立支援制度支援）

教育支援資金：高校、短大、大学、専門学校就学のための支援費、支度費（生活福祉資金特例貸付）新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業により生活資金で困窮している場合に貸付を行う。6月末まで延長。

緊急小口資金：20万円以内（主に休業による困窮世帯の場合）

総合支援資金：60万円以内（主に失業による困窮二人以上世帯の場合）

（月別貸付金額及び件数）金額単位：万円

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	急1	急3	0	急3	0	0	急2	急1	急2 総2	教1 急1 総2	急1 総1 他3	急7 総1 他1	教1 急21 総6 他4
貸付	20	60	0	60	0	0	40	20	160	教54 100	160	220	894

教＝教育支援資金 急＝コロナ緊急小口資金 総＝コロナ総合支援資金

他＝延長・変更

支援連携団体：民生委員児童委員協議会・山形県・山形県社会福祉協議会・大石田町社会福祉協議会

③北村山地域生活困窮者自立相談支援事業（第二種社会福祉事業）

※ 山形県からの委託事業（令和2年度より受託）

内容：働きたくても働けない、住む所がない、社会に出られない、経済的に困っているなど、相談窓口で一人ひとりの状況に合わせた支援プランを作成し、専門の支援員が相談者に寄り添いながら、他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を行う。就労支援事業、就労準備事業、住居確保事業、一時生活支援事業、家計相談事業、学習支援事業、フードバンク、たすけあい金庫貸付事業、生活福祉資金貸付事業、生活保護制度とも連携し、ワンストップで生活全般に渡る支援を提供する。

（月別相談件数）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	3	1	3	1	0	0	0	0	2	2	3	1	16 継続
相談回数	来9 訪1	来5 訪1	来14 訪3	来8 訪3	来13 訪3	来10 訪4 同2	来23 訪3 同4	来16 訪4 同4	来18 訪2 同2	来11 訪2 同1	来41 訪2 同3	来61 訪3 同2	来229 訪31 同18

来＝来所相談 訪＝訪問相談（家庭・病院） 同＝同行支援（ハローワーク等）

※16件の相談内容

収入減による生活困窮、債務整理、家計改善、就労支援＝14件・ひきこもり＝2件
 資金貸付、家計指導、就労支援・日常生活同行支援等により対応。多くは資金貸付、
 生活保護受給、家計指導などにより継続支援中。ひきこもり者については1件が就労
 決定。

支援連携団体：民生委員児童委員協議会・山形県・村山公共職業安定所・山形県社
 会福祉協議会・山形県身体障害者福祉協会・北村山地区労働者福祉協
 会・山形県ひとり親福祉会・大石田町・大石田町社会福祉協議会

食糧支援：大石田町内有志・フードバンク・北村山生活協同組合

（関連事業）

- ①学習支援教室 毎週日曜日午前実施 年間37回開催 延べ222名参加（小中高）
- ②ふれあい食堂 2回（弁当配布）コロナ対策のため 約70食無料配布
 ー昨年は年間12回実施（ボランティア虹の会が実施）
- ③コロナ対策支援金給付 6月17日～（大石田町より受託）100世帯、100万円
- ④お福分け 年末食糧支援 35世帯
- ⑤寄付米（ヨークベニマル）配布 19世帯 122kg
- ⑥通常食糧支援（主に町民からの寄付物品配布） 30回以上

（3）災害被災者への日常生活復旧支援（7月豪雨災害）

①大石田町災害ボランティアセンターの設置（8月1日～9月10日）

（ボランティアセンターの内容）

豪雨災害により被害を受けられた方への日常生活復旧支援のために、ボランティアを
 募集し、被災住民の必要（ニーズ）に応じてボランティアを派遣する。また全国各地か
 らの支援物品等の受付をする。センター開設にあたっては、被災住民の実態を調査、把
 握することから、ボランティアとの連絡調整、ボランティアの安全確保、被災住民に寄
 り添った支援活動、資機材、資金の確保等々、様々な支援活動をする。

大石田町災害ボランティアセンターの活動記録

	ニーズ件数 (新規・継続含む)	内訳（地区・内容）	ボランティア人 数 (活動人数)	ボランティア 団体名等
7/31(金)	4	今宿 1 新町 1 川端 2	40	青年会議所・個人 ふたば保育園 尾花沢社協 IG工業・大石田中先生
8/1(土)	10	今宿 3 新町 4 川端 1 豊田 2	81	大石田町建設業協会 青年会議所・IG工業 尾花沢社協・第一生命 郵便局チーム・個人

8/2(日)	13	今宿 1 川端 1 駒籠 1	新町 7 豊田 3	112	ライオンズクラブ 青年会議所・IG 工業 尾花沢社協・個人 新庄北高校生徒 チームはちまき
8/3(月)	12	今宿 1 川端 2 豊田 3 駒籠 4	新町 2	63	青年会議所・IG 工業 尾花沢社協・天童工業 北村山高校生徒・個人 新庄北高校生徒 尾花沢日産自動車
8/4(火)	11	今宿 1 豊田 3 駒籠 4	新町 3 上宿 1	48	青年会議所・IG 工業 尾花沢社協・個人 北村山高校生徒
8/5(水)	11	今宿 1 川端 1 駒籠 4	新町 2 豊田 3 上宿 1	90	青年会議所・IG 工業 尾花沢社協・個人 北村山高校生徒
8/6(木)	7	今宿 2 豊田 1 上宿 1	新町 2 駒籠 2	51	青年会議所・IG 工業 尾花沢社協・個人 北村山高校生徒
8/7(金)	3	今宿 2 上宿 1	新町 1	22	青年会議所・IG 工業 北村山高校生徒・個人
8/11(火)	1	来迎寺 1		4	個人
8/12(水)	1	今宿 1 上宿 1 (送風機貸出)		4	個人
8/17(月)	1	豊田 1 (消毒)		2	職員
8/20(木)	2	豊田 1 (高圧洗浄) 新町 1 (ニーズ調査)		2	職員
8/22(土)	1	新町 1		12	北村山高校生
計	77件	同一世帯継続含む		531人	

※ ニーズ（依頼内容）は、浸水家具の運び出し、畳上げ運び出し等、被災ごみの搬出、運搬、清掃、床下の泥出し、側溝の泥上げなど。

②災害見舞金の給付（10月2日～11日） 97世帯 97万円

③災害ボランティアセンター反省会議（10月7日）

被災2地区区長、ボランティア代表、山形県青年会議所、尾花沢青年会議所、尾花沢市社会福祉協議会、山形県社会福祉協議会、会長、副会長、常務理事の参加により、今回の災害時における復旧支援のあり方を検証した。

（４）モデル事業の実施

「すこやか・安心地域づくり推進モデル事業」山形県・大石田町からの委託事業

（事業の目的）

人口減少、高齢化により、地域のつながりが希薄になりつつあり、生活弱者の孤立化

など様々な福祉的課題が生まれつつある。「すこやか・安心地域づくり推進モデル事業」はこのような福祉課題に実験的に取り組むことを目的として、山形県、大石田町から委託された事業である。

(事業の実施主体)

「鷹巣地区すこやか・安心地域づくり推進委員」

構成：鷹巣地区区長3名、鷹巣地区民生委員2名、鷹巣公民館長、鷹巣地区社協評議員
鷹巣老人クラブ会長、役員、大石田町社会福祉協議会（事務局）

(事業の内容)

- ①ニーズ調査：令和2年8月11日実施、鷹巣地区全戸についてアンケート調査をする。調査結果から、鷹巣での課題を ①除雪 ②健康づくりの2点に絞る。
- ②推進会議：5回開催
- ③サロン活動：健康づくりと交流を目的として「百才体操」を継続的に行う。体操終了後に交流会（お茶のみ）を行い、地元の方の歌や特技など披露する。
毎週火曜日開催 全18回 延べ参加人数345人参加。
- ④「買い物ツアー」の実施：スーパーで買い物をしたいというニーズをもとに、社会福祉協議会がタクシーをチャーターして「買い物ツアー」として職員が添乗、同行して買い物支援を行う。利用料
3回実施 延べ7名参加
- ⑤鷹巣安心見守り隊の結成：事業終了後も鷹巣地区の福祉課題解決のための組織として、継続的に取り組む組織として結成した。推進委員を母体に14名で構成。
間口除雪については、これまでも近隣、親族等で実施しており、それを規格化し、有償ボランティアとして統一するのは無理があり、これからも継続課題とする。

3. 団体事務局について

(1) 大石田町老人クラブ連合会

①クラブ数・会員数：13クラブ 542人

②活動状況：会議、行事、ボランティア作業のほとんどが中止。

会議7回

実施事業：おしどり金婚式（16組参加）・新春囲碁将棋大会（11名参加）・
会長表彰式（優良クラブ1・育成指導功労者15名）

中止事業：総会・第38回老ク連ゲートボール大会・第19回老ク連グラウンド
ゴルフ大会・第46回老人クラブ体育レク大会・第35回老人クラブ
連合会 研修旅行・第12回老ク連公式ワナゲ大会・会長役員合同研
修会・手づくり作品展・いきいき大石田福祉のつどい・県大会・各地
区老人クラブも多くは活動休止状態となった。

※コロナ禍により老人クラブ活動が休止することの影響は大きい。



(2) 大石田町身体障がい者福祉会

①会員数：105人

②活動状況：総会含め多くの会議等が中止。

会議 2回

実施事業：大石田町身障者交流サロン（カラオケ）6回・同交流サロン（レク練習会）9回・自主財源確保のためのお茶販売・友愛訪問事業・山形県身体障害者相談員研修会・宿泊歩行訓練研修会

中止事業：総会・山形県身障者スポーツ大会・東紅苑カラオケ芸能交流会・カローリング交流会・県大会



(3) 大石田町手をつなぐ育成会

①会員数：10人 賛助会員 15人

②活動状況：ほぼ予定通り実施。

会議 1回

実施事業：総会・親子ふれあい研修会（日帰り）

中止事業：北郡研修会・北郡レク大会・県大会

(4) 福祉ボランティアいこいの会

①会員数：35人

②活動状況：福祉施設でのボランティア活動等を除いてほぼ実施。

会議 7回

実施事業：総会・配食サービス 22回 1,357食（2回は事務局配食）

配食の活動人数計延べ181人

手づくりマスクの制作、寄付・一人暮らし高齢者クリスマスプレゼント制作、配布・おせち料理配達

大石田町災害ボランティアセンターへの運営補助 延べ82名
会員研修会（日帰り）

中止事業：ふれあいマラソン給水ボランティア・福祉施設でのボランティア・そば祭り出店



(5) 大石田町遺族会

①会員数：136人

②活動状況：会議は中止

実施事業：会員研修会・県追悼式参加・遺族通信12回配布

中止事業：大石田町追悼式・理事会、評議員会

4. 大石田町共同募金委員会について

社会福祉法人山形県共同募金会の大石田町支部委員会。業務委託ではなく、支部として位置づけられている。大石田町社会福祉協議会の定款第2条7項に「共同募金事業への協力」とあり、社会福祉協議会の重要な事業のひとつである。主に事業の計画立案をする運営委員と、町民の皆様からお預かりした募金を配分する審査委員とに分かれ、厳正に事業が執行されるようにしている。

(1) 赤い羽根共同募金運動

- ①実施時期：令和2年10月1日から
- ②目標額：1,530,000円 達成額：1,578,352円
- ③オープニングセレモニー
10月3日 ふたば保育園の協力を得て横山児童館で実施。
- ④一世帯に協力をお願いする金額：600円以上
- ⑤募金の配分
大石田町社会福祉協議会事業費に配分



(2) 歳末たすけあい運動

- ①実施時期：令和2年12月1日から
- ②目標額：1,050,000円
達成額：1,084,905円
- ③一世帯に協力をお願いする金額：500円以上
- ⑤募金の配分
158世帯、4福祉施設に配分

(3) 被災地支援募金活動（被災者支援の義援金・ボランティア支援の支援金）

全国で多発する自然災害に対し、被災地で暮らす方々の一日でも早い復旧支援のために募金箱を設置し、町民からの善意の募金をお願いする。昨年の7月豪雨災害において大石田町も共同募金に大きく支えられた。

- ①実施時期：随時
- ②募金額：任意

5. 上記以外の事業について

(1) 心配ごと相談

相談員（社協会長より委嘱）4名 毎月1回水曜日 午後1時30分～
全9回実施 1件の相談

(2) 無料法律相談

弁護士による無料法律相談 隔月1回水曜日 午後1時30分～
全6回実施 3件の相談（電話相談）

(3) 車椅子無料貸出

8台保有 二週間を限度として、随時貸出。
全21回貸出

(4) 鍼灸マッサージ施術助成券交付

一人3回まで、1回につき1,000円の補助
全8回交付

(5) 児童遊園地整備助成事業

2地区より修理、撤去の申請 助成金額計31,500円

(6) 敬老会開催助成事業

各地区で開催される敬老会に、一人あたり350円を助成する。
23地区より申請、824名、助成金額計288,400円

(7) 福祉教育

「福祉ボランティア養成講座」「福祉講座」「防災講座」すべて中止となった。
出張授業：令和2年11月26日 講師：佐藤事務長
大石田中学校 テーマ「福祉について」・対象 中学3年生
他に、災害時の中学生、高校生のボランティア参加、冬季の大石田中学校先生、生徒による除雪ボランティア活動も大切な福祉教育として考えられる。

6. 法人運営について（令和2年会計年度）

(1) 理事会、評議員会、評議員選任解任委員会、監事会の開催

①5月27日開催監事会

令和元年度収支決算についての会計監査

②5月29日評議員会（書面議決）

議案第1号 理事の選任について

③6月11日開催理事会

議案第1号 副会長・常務理事の選任について

- 議案第 2 号 令和元年度大石田町社会福祉協議会事業報告について
- 議案第 3 号 令和元年度大石田町社会福祉協議会収支決算について
- 議案第 4 号 評議員の推薦について
- 議案第 5 号 「榎本恭平福祉基金」を「たすけあい金庫」へ資金移動し、「榎本恭平福祉基金」運用規程の廃止について
- 議案第 6 号 評議員会の開催日程について
- 提案事項 大石田町社会福祉協議会の役員・評議員定数の見直しについて

④6月11日開催評議員選任・解任委員会
理事会推薦評議員の選任議決

⑤6月26日開催評議員会

- 議案第 2 号 令和元年度大石田町社会福祉協議会事業報告について
- 議案第 3 号 令和元年度大石田町社会福祉協議会収支決算について
- 議案第 4 号 理事の選任について
- 報告事項 「榎本恭平福祉基金」を「たすけあい金庫」へ資金移動し、「榎本恭平福祉基金」運用規程の廃止について

⑥8月26日開催理事会

- 議案第 7 号 一般会計補正予算（第 1 次）について
- 議案第 8 号 令和 2 年 7 月豪雨災害における被災者への見舞金給付について
- 報告事項 1 令和 2 年 7 月豪雨災害大石田町災害ボランティアセンター設置について
- 報告事項 2 会長及び常務理事の職務執行状況について

⑦12月25日開催理事会

- 議案第 9 号 一般会計補正予算（第 2 次）について
- 議案第 10 号 大石田町社会福祉協議会理事・評議員の定数の改定について
- 報告事項 1 会長及び常務理事の職務執行状況について

⑧令和3年3月17日開催理事会

- 議案第 11 号 一般会計補正予算（第 3 次）について
- 議案第 12 号 理事・評議員の定数改定について
- 議案第 13 号 令和 3 年度大石田町社会福祉協議会事業計画について
- 議案第 14 号 令和 3 年度大石田町社会福祉協議会一般会計予算について
- 報告事項 1 会長及び常務理事の職務執行状況報告について

⑨令和3年3月29日開催評議員会

議案第5号 理事・評議員の定数改定について

議案第6号 令和3年度大石田町社会福祉協議会事業計画について

議案第7号 令和3年度大石田町社会福祉協議会一般会計予算について

報告事項1 令和2年度大石田町社会福祉協議会一般会計補正予算
(1次・2次・3次)について

(2) 大石田町社会福祉協議会苦情解決第三者委員調査委員会

大石田町社会福祉協議会が行う「福祉サービス利用援助事業」をはじめとして、大石田町社会福祉協議会の事業について、利用者、参加者から苦情が出た場合に当事者から聞き取り、調査し、解決に導くための委員会。

委員会構成：第3者委員2名・苦情解決責任者1名・サービス提供者2名

苦情取扱件数：0件

苦情等無く、開催なし。

(3) 社会福祉法人ふたば保育園と連携協定の締結 令和2年7月15日

誰もが大石田町で安心して暮らせることを目的として、社会福祉法人ふたば保育園と社会福祉法人大石田町社会福祉協議会との連携協定を締結。

(事業)

①児童福祉に関すること(子ども食堂・困窮家庭支援・虐待防止・学習支援)

②障がい者福祉に関すること(障がい者サロン・スポーツ振興)

③災害時相互支援

④その他必要なこと

現在、赤い羽根共同募金のオープンセレモニーでの全面協力と、障がい者サロンを開催し、障がい者スポーツ振興に取り組んでいる。また、7月豪雨災害時には職員が総出で支援に駆けつけてくれた。今後は子どもの居場所作りなどで連携予定。

7. 情報発信について

ホームページ・フェイスブックによる情報発信

「おもいやり」2回発行

「お知らせ」13回発行(災害ボランティアセンター情報含む)